

## 不適合の管理状況(平成30年1月前半審議分)

平成30年1月1日～平成30年1月15日 の間に、不適合判定検討会にて審議し、不適合と判定したもの。  
なお、不適合事象は重要度に応じて「A～Cのグレード分け」を行い、管理の程度を定めている。

【Aグレード】 0 件

対象となる事象は、ありませんでした。

【Bグレード】 0 件

対象となる事象は、ありませんでした。

【Cグレード】 14 件

No	審議日	号機	プラント 状態	不適合事象・処置計画
1	1月4日	1号機	廃止措置 段階	<p>固体廃棄物処理設備の点検において、空気流量計の誤差が大きいことを確認した。</p> <p>当該流量計を取替える。</p> <p>(固体廃棄物処理設備：発電所建物内で発生する固体廃棄物を処理する設備)</p>
2	1月4日	2号機	施設定期 検査中	<p>所内用圧縮空気設備において、手動弁のシート部からわずかな空気の漏えいを確認した。</p> <p>当該弁を補修する。</p> <p>(所内用圧縮空気設備：所内で使用する作業用圧縮空気を供給する設備)</p>
3	1月5日	共通	—	<p>水ろ過装置において、サンプリング弁が損傷していることを確認した。</p> <p>当該弁を取替える。</p> <p>(水ろ過装置：凝集沈殿およびろ過処理により淡水中の濁度成分を除去する装置)</p>
4	1月5日	1,2号機 共通	—	<p>所内ボイラーにおいて、ドラム水面計からわずかな蒸気の漏えいを確認した。</p> <p>当該水面計を補修する。</p> <p>(所内ボイラー：空調の暖房用機器および発電所の起動・停止時に蒸気を使用する機器等へ蒸気を供給する装置)</p> <p>(ドラム：ボイラーの上部に設置し蒸気を取り出す設備)</p> <p>(水面計：容器内の液面の位置を外部から測る計測器)</p>
5	1月5日	3号機	建設中	<p>所内ボイラーにおいて、煙突のドレン配管が腐食していることを確認した。</p> <p>当該配管を補修する。</p> <p>(ドレン配管：水を抜くための配管)</p>
6	1月9日	3号機	建設中	<p>所内ボイラーにおいて、排水ピットの弁の操作が遅れたため、水位高の警報が発報したことを確認した。</p> <p>当該弁を操作し排水ピットの水位を下げる。</p>
7	1月10日	共通	—	<p>除染ポンプにおいて、ポンプ出口配管からわずかな水の漏えいを確認した。</p> <p>当該配管を取替える。</p> <p>(除染ポンプ：機器の洗浄やタンクの水張り等に使用する水を供給するポンプ)</p>

No	審議日	号機	プラント 状態	不適合事象・処置計画
8	1月10日	2号機	施設定期 検査中	洗濯廃液処理設備において、導電率計が故障していることを確認した。 当該導電率計を取替える。 (洗濯廃液処理設備：管理区域内で使用する作業着等の洗濯後の廃液を処理する設備)
9	1月11日	共通	—	サイトバンカ建物の空気圧縮機において、異常を知らせる警報が発報し、当該圧縮機が停止したことを確認した。 当該空気圧縮機を点検する。
10	1月12日	1,2号機 共通	—	所内ボイラーにおいて、電磁弁のシート部からわずかな空気の漏えいを確認した。 当該電磁弁を取替える。 (電磁弁：電磁石で作動する弁)
11	1月12日	1号機	廃止措置 段階	残留熱除去設備において、ポンプ用しゃ断器が断路位置にならないことを確認した。 当該しゃ断器を点検する。 (残留熱除去設備：原子炉が停止した後に燃料から発生する熱を除去する設備) (しゃ断器：電気回路を入切する装置)
12	1月15日	3号機	建設中	所内ボイラーにおいて、排水処理装置のpHの警報が発報したことを確認した。 当該排水処理装置を点検する。 (pH：酸性、アルカリ性の度合いを示す単位)
13	1月15日	2号機	施設定期 検査中	燃料プール冷却設備において、ポンプ出口弁のグランド部からわずかな水の漏えいを確認した。 当該グランド部を補修する。 (グランド部：弁棒貫通部のシール部)
14	1月15日	共通	—	雑固体廃棄物処理設備において、投入容器重量計の誤差が大きいことを確認した。 当該重量計を補修する。 (雑固体廃棄物処理設備：配管廃材等の不燃性の放射性廃棄物を溶融、固化処理する設備) (投入容器：貯蔵された雑固体廃棄物を溶融炉に投入する容器)